



2023年2月期 第2四半期 決算補足説明資料

(2022年3月1日～2022年8月31日)

2022年9月29日

DCMホールディングス株式会社

2023年2月期 第2四半期ハイライト

DCMホールディングス株式会社

2023年2月期 第2四半期ハイライト



売上高 **2,352億円** ~前期比 **104.5%** (計画比 **96.8%**)

・既存店売上高 前年同期比 Δ 3.3%、エキスパイース連結により増収

売上総利益 **801億円** ~前期比 **102.6%** (計画比 **98.3%**)

・売上総利益率 前年同期比 Δ 0.6%、ホームセンター事業+0.7%

営業利益 **189億円** ~前期比 **96.0%** (計画比 **95.3%**)

・販管費前年同期比 104.6%、前年差 +2,819百万円

経常利益 **191億円** ~前期比 **97.0%** (計画比 **96.8%**)

・為替差益 +309百万円、持分法投資利益+54百万円

親会社株主に帰属する

当期純利益 **121億円** ~前期比 **89.8%** (計画比 **96.2%**)

・前年差 Δ 1,370百万円

※当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、前期に同会計基準を適用したものと前期比較をしております。
2022年8月期よりエキスパイース株式会社を連結した数値となっております。(エキスパイース株式会社 2022.4月~6月分)

2023年2月期 第2四半期業績

DCMホールディングス株式会社

エクスプライズ株式会社連結による増収も 原材料価格の高騰や円安、コスト上昇により減益

(単位：百万円、%)

	2021年8月期		2022年8月期			エクスプライズ除き		
	金額	売上比	金額	売上比	前期比	金額	売上比	前期比
売上高	※ 225,198	100.0	235,272	100.0	104.5	220,003	100.0	97.7
売上総利益	78,139	34.7	80,139	34.1	102.6	77,780	35.4	99.5
営業収入	3,541	1.6	3,560	1.5	100.5	3,560	1.6	100.5
営業総利益	81,680	36.3	83,699	35.6	102.5	81,340	37.0	99.6
販管費	61,910	27.5	64,730	27.5	104.6	61,980	28.2	100.1
営業利益	19,769	8.8	18,969	8.1	96.0	19,360	8.8	97.9
経常利益	19,762	8.8	19,165	8.1	97.0	19,563	8.9	99.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,494	6.0	12,124	5.2	89.8	12,484	5.7	92.5

※ 当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、前期に同会計基準を適用したもとして金額を算出しております。

2022年8月期よりエクスプライズ株式会社を連結した数値となっております。

天候不順の影響や前期需要の反動減を受ける Q2よりエクスプライズ株式会社を連結

（単位：百万円、%）

	Q1（3月～5月）			Q2（6月～8月）			Q2エクスプライズ除き	
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比	当期	前期比
売上高	※114,261	112,254	98.2	※110,936	123,017	110.9	107,748	97.1
売上総利益	39,969	39,651	99.2	38,169	40,488	106.1	38,129	99.9
営業収入	1,787	1,769	99.0	1,754	1,790	102.1	1,790	102.1
営業総利益	41,756	41,420	99.2	39,923	42,279	105.9	39,919	100.0
販管費	31,376	31,586	100.7	30,534	33,144	108.5	30,394	99.5
営業利益	10,380	9,834	94.7	9,389	9,134	97.3	9,525	101.5
経常利益	10,351	10,148	98.0	9,411	9,017	95.8	9,414	100.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,579	6,506	85.8	5,915	5,618	95.0	5,977	101.1

※ 当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、前期に同会計基準を適用したもとして金額を算出しております。

2022年8月期よりエクスプライズ株式会社を連結した数値となっております。

園芸ガーデニング需要は引き続き堅調 プロ向け商材やリフォームエクステリア関連も好調

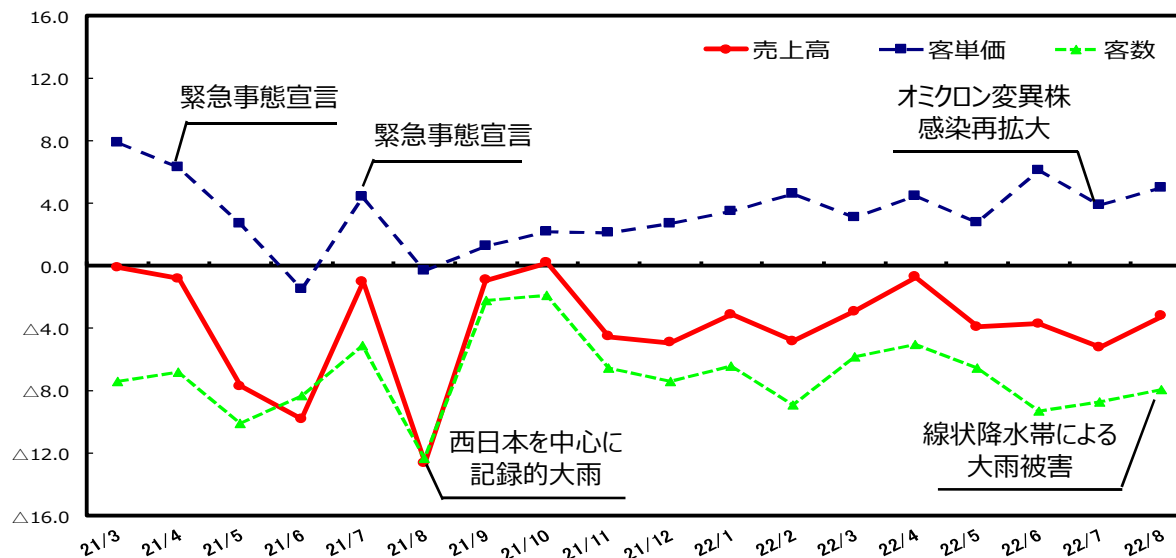
(単位：百万円、%)

	前期		当期		
	※ 金額	構成比	金額	構成比	前期比
園 芸	41,377	18.4	41,132	17.5	99.4
ホームインプルーブメント	49,222	21.9	48,461	20.6	98.5
ホームレジャー・ペット	35,113	15.6	34,183	14.5	97.4
ハウスキーピング	52,177	23.0	49,714	21.1	95.3
ホームファニッシング	12,821	5.7	11,967	5.1	93.3
ホームエレクトロニクス	21,069	9.4	20,669	8.8	98.1
その他の	7,102	3.2	7,087	3.0	99.8
商品供給高他	6,188	2.7	6,620	2.8	107.0
ホームセンター事業計	225,074	99.9	219,836	93.4	97.7
エクспライス事業	-	-	15,269	6.5	-
その他の事業	124	0.1	166	0.1	134.3
合 計	225,198	100.0	235,272	100.0	104.5

※ 当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、前期に同会計基準を適用したもものとして金額を算出しております。
2022年8月期よりエクспライス株式会社を連結した数値となっております。

コロナウイルス関連商品需要の反動で減収 原材料高や円安の対応によって客単価は上昇

	前期			当期		
	売上高	客数	客単価	売上高	客数	客単価
3月～8月累計	△5.6%	△8.4%	+3.1%	△3.3%	△7.2%	+4.2%
3月～5月	△3.3%	△8.3%	+5.4%	△2.5%	△5.8%	+3.5%
6月～8月	△7.9%	△8.6%	+0.8%	△4.1%	△8.6%	+5.0%



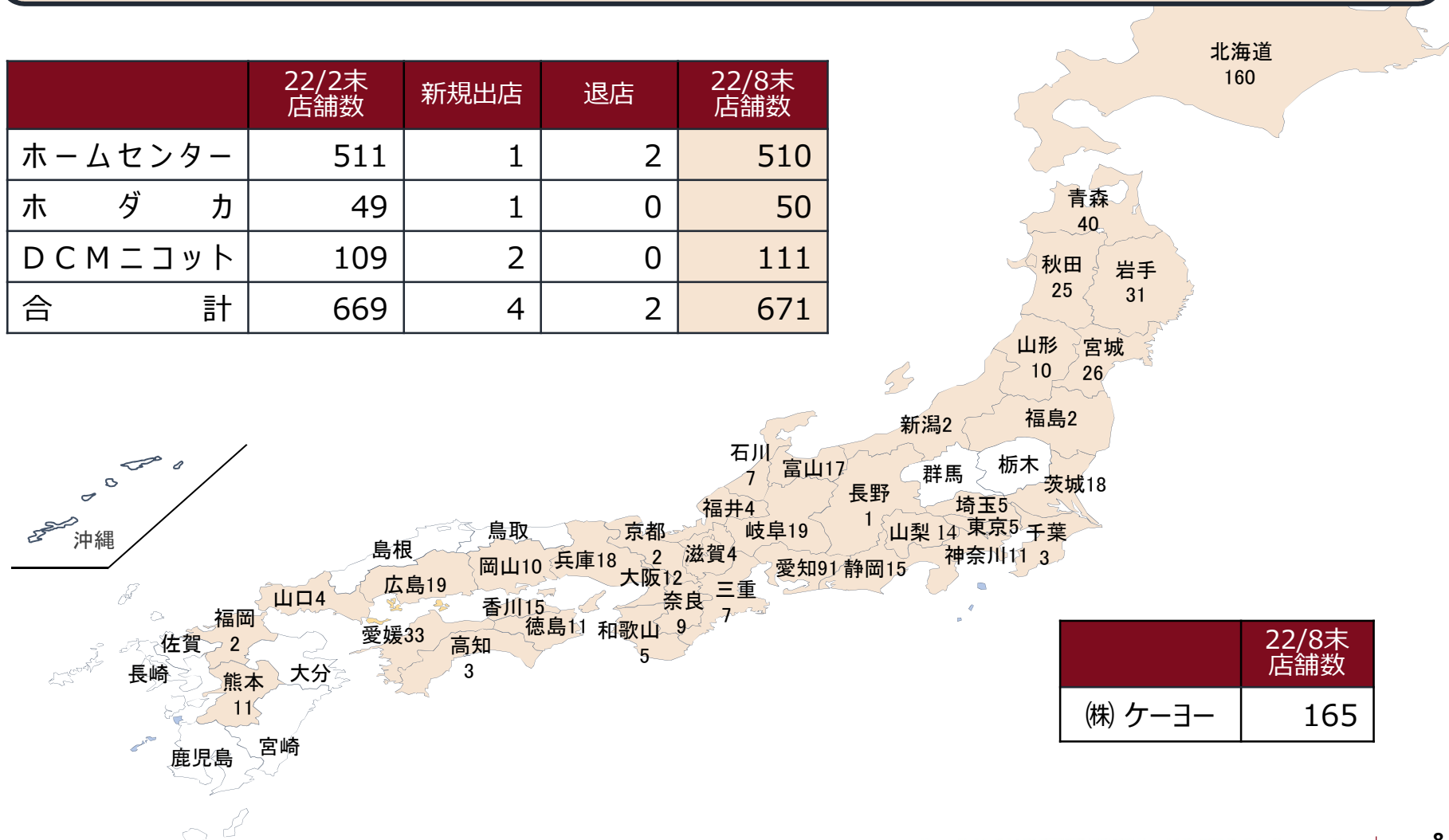
※ 当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、前期に同会計基準を適用したものととして伸び率を算出しております。

都道府県別出店状況



ケーヨーを含め、全国に836店舗展開

	22/2末 店舗数	新規出店	退店	22/8末 店舗数
ホームセンター	511	1	2	510
ホダカ	49	1	0	50
DCMニコット	109	2	0	111
合計	669	4	2	671

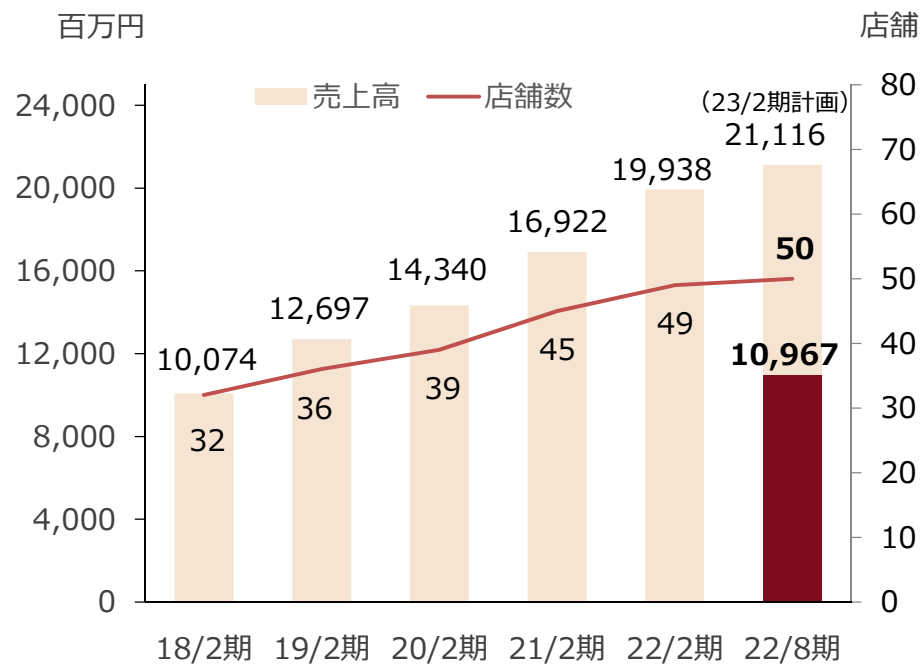


**プロユースに特化した専門店として好調に推移
店舗の認知度向上とともに売上高が順調に増加**

ホダカ（プロショップ） 工具・金物・作業用品の専門店



既存店前期比 + 7.5%



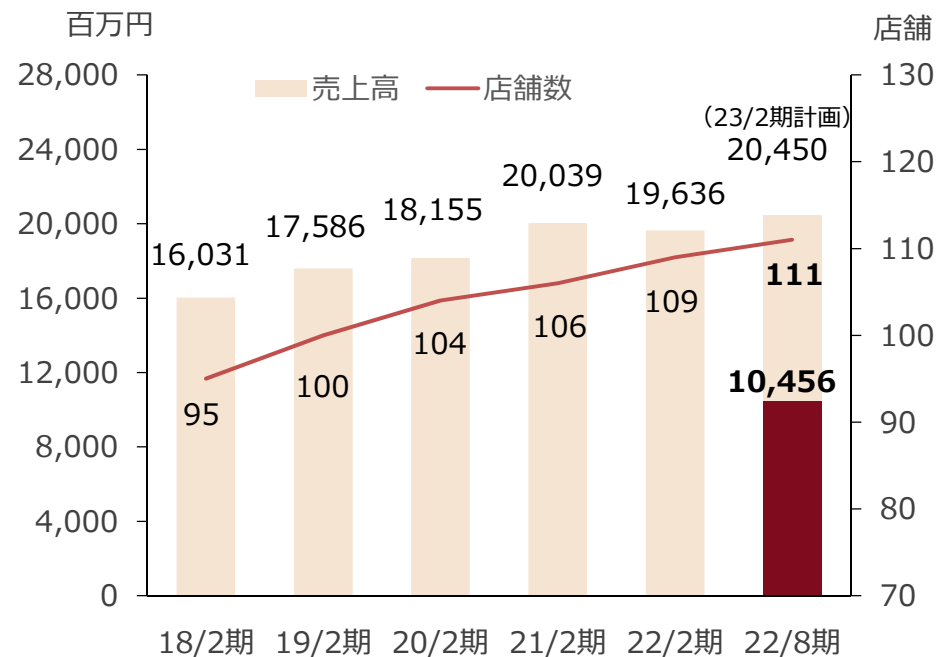
2022年8月期 50店舗（東海22、北陸5、関東5、近畿5、東北5、北海道4、中国2、四国2）
全店売上高 10,967百万円（前期比 + 11.3%） 営業利益 前期比 + 2.2%

地域密着型の小型店として 地域与件に対応した品ぞろえで地域に貢献

DCMニコット 小商圈型ホームコンビニ



既存店前期比△2.6%



2022年8月期 111店舗 (北海道69、東北36、関東6)

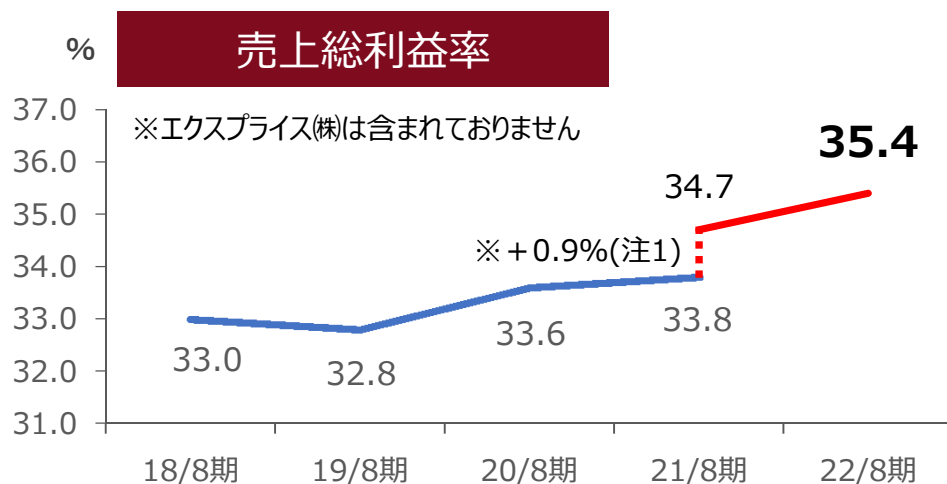
全店売上高 10,456百万円 (前期比△0.1%) 営業利益 前期比△4.7%

売上総利益率の推移



値入率は悪化するも売変率のコントロールにより
部門別の売上総利益率は着実にアップ

(単位：%)



- ① 値入率 Δ 0.8ポイント
- ② 売変率 Δ 2.5ポイント
 - ・売変コントロールにより改善 Δ 2.6ポイント
 - ・ポイント値引による悪化 +0.1ポイント

	部門別売上総利益率	
	前期 21/8期 ※(注2)	当期 22/8期
園芸	35.8 (35.5)	36.3
H I	38.1 (37.9)	38.5
H L	35.8 (35.6)	36.5
H K	30.9 (30.6)	31.9
H F	42.3 (42.1)	42.5
H E	33.6 (33.4)	34.5
その他	33.8 (19.9)	32.9
合計	34.7 (33.8)	35.4

※(注) 1. 33.8%から34.7%への+0.9%については、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しているため前期に同会計基準を適用したものと
して売上総利益率を算出したためであります。

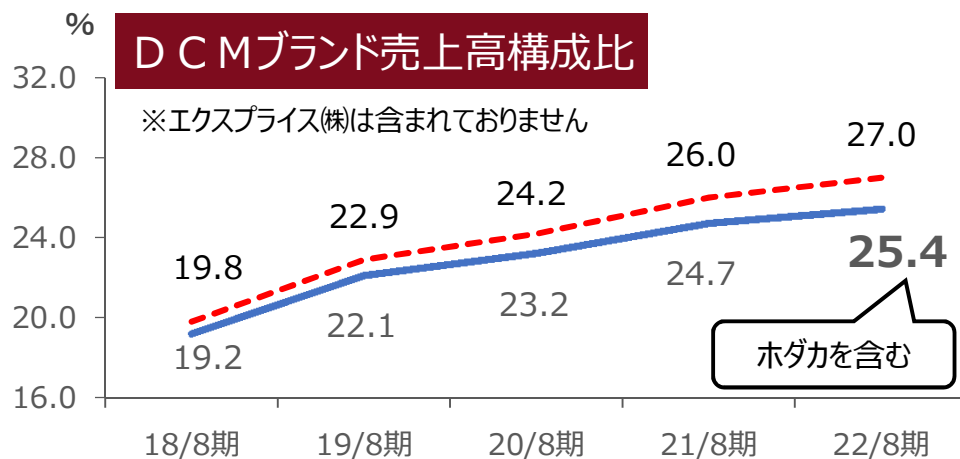
2. ()内は「収益認識に関する会計基準」適用前の売上総利益率であります。

DCMブランド売上高構成比の推移



商品開発の強化、販促の強化により
 全部門で売上高構成比は上昇

(単位：%)



DCMブランドの売上高構成比アップ
 (前年差+0.7ポイント)

- ・DCMブランド売上高 49,195百万円
 (前期比 99.5%)
- ・DCMブランドアイテム数 29,700 S K U
 (前年差 +2,700 S K U)

	DCMブランド売上高構成比		
	前々期 20/8期	前期 21/8期	当期 22/8期
園 芸	26.7	28.0	28.3
H I	16.6	18.4	19.7
H L	28.2	29.0	29.4
H K	21.2	23.2	24.8
H F	60.8	65.8	66.5
H E	4.6	4.7	5.1
合 計	23.2	24.7	25.4

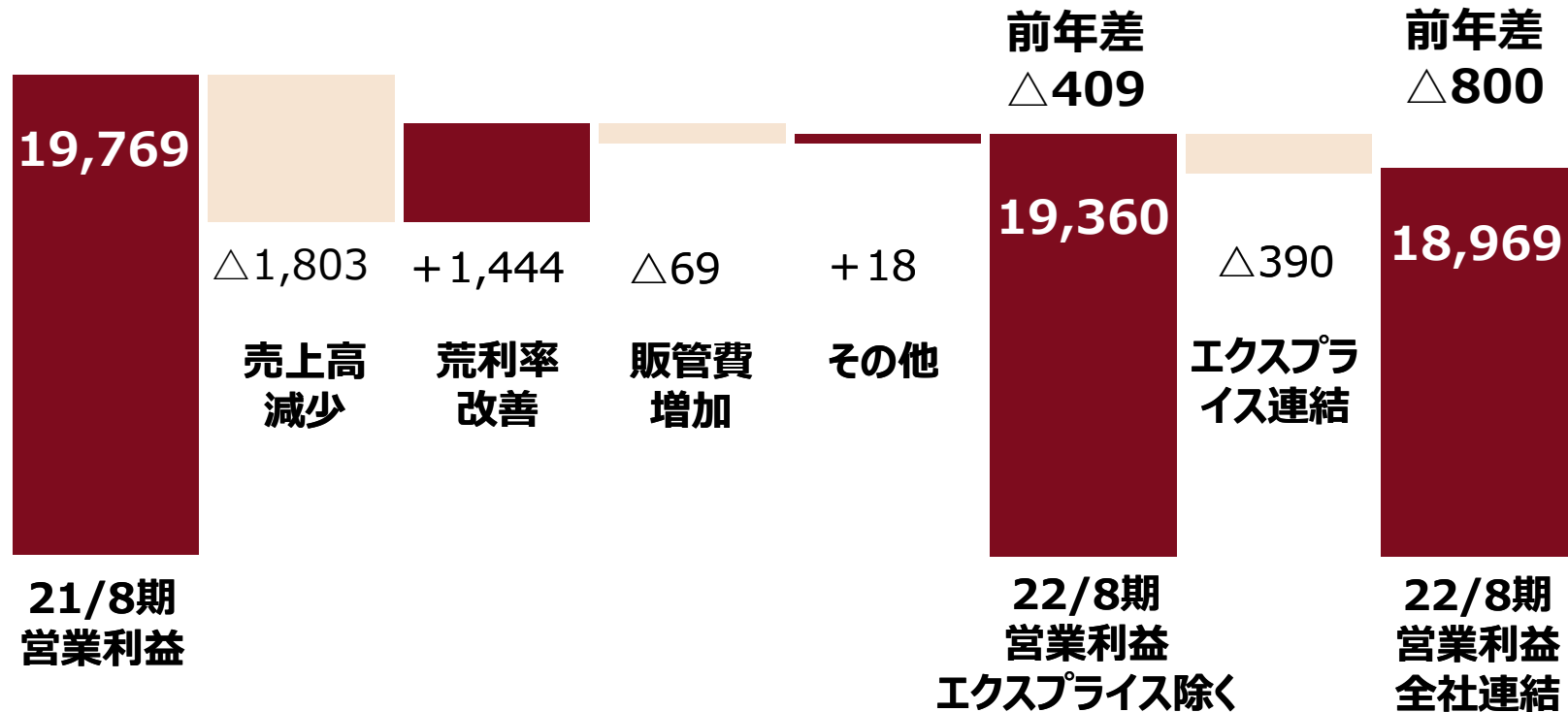
※ DCMブランド売上高構成比 ホダカ含む。

営業利益の増減内訳



荒利率が改善するも、売上高の減少と
水道光熱費等の販管費増加により減益

(単位：百万円)



※当期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。
影響は売上高のみですが、前期に同会計基準を適用したものと概算した金額を記載しております。

連結貸借対照表



(単位：百万円)

	2022年2月期	2022年8月期	増減	増減要因
流動資産	175,057	240,485	+ 65,427	現預金 + 47,002百万円
受取手形及び売掛金	14,211	22,168	+ 7,956	季節的要因、エクспライズ連結による増加
商品	106,001	117,845	+ 11,844	季節的要因、エクспライズ連結による増加
固定資産	274,093	296,333	+ 22,240	
有形固定資産	196,243	195,853	△390	
無形固定資産	13,306	34,641	+ 21,334	のれんの増加 20,604百万円（当期末は暫定数値）
投資その他の資産	64,542	65,838	+ 1,295	
資産合計	449,151	536,818	+ 87,667	エクспライズ連結により34,034百万円増加
流動負債	100,109	108,172	+ 8,063	
支払手形及び買掛金	48,204	54,187	+ 5,982	季節的要因、エクспライズ連結による増加
短期借入金	—	16,000	+ 16,000	エクспライズ関連 16,000百万円
1年内返済長期借入金	30,111	9,336	△20,774	
固定負債	108,306	180,861	+ 72,554	
長期借入金	73,767	147,703	+ 73,935	新規借入 80,000百万円
リース債務	14,753	13,366	△1,387	
負債合計	208,416	289,033	+ 80,617	
純資産合計	240,735	247,785	+ 7,049	
負債純資産合計	449,151	536,818	+ 87,667	

設備投資及び減価償却費



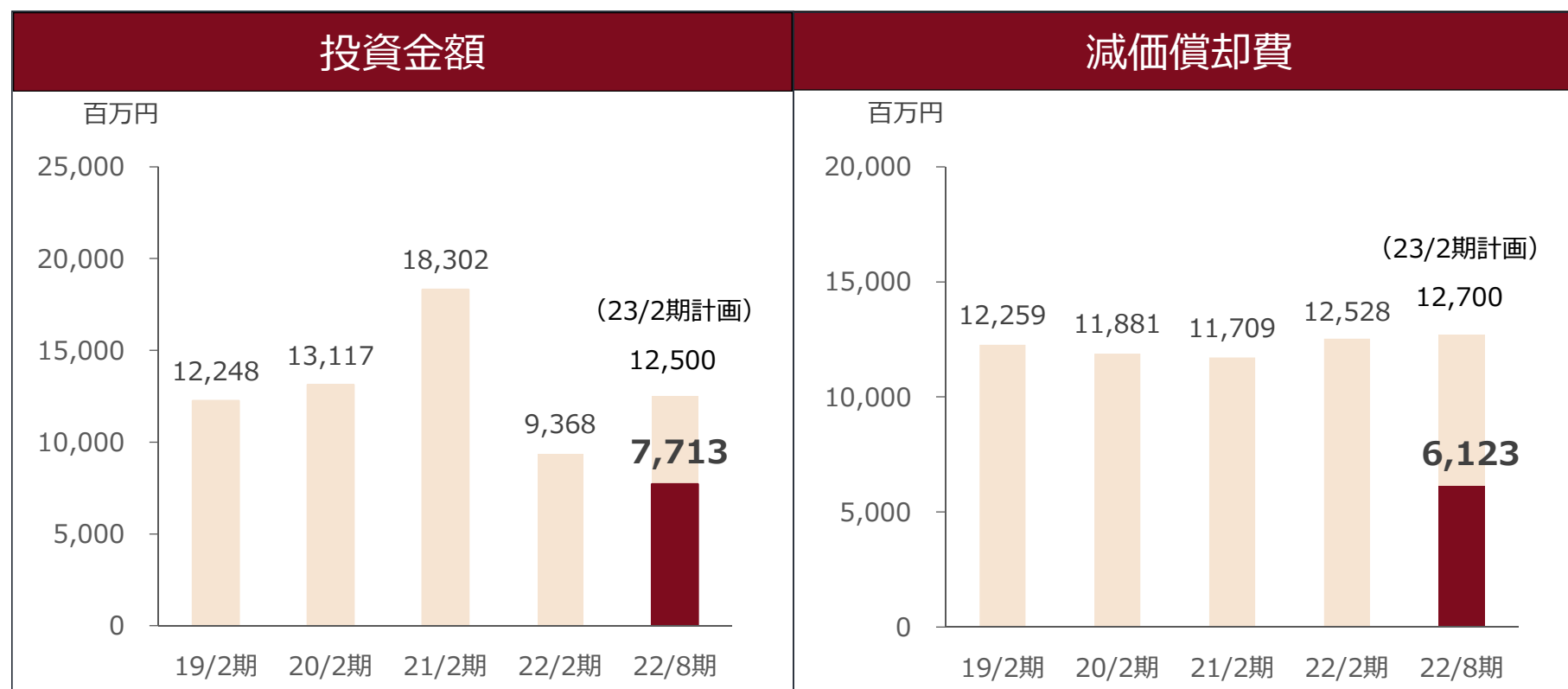
2022年3月1日～2022年8月31日

(単位：百万円)

投資金額	減価償却費
7,713	6,123

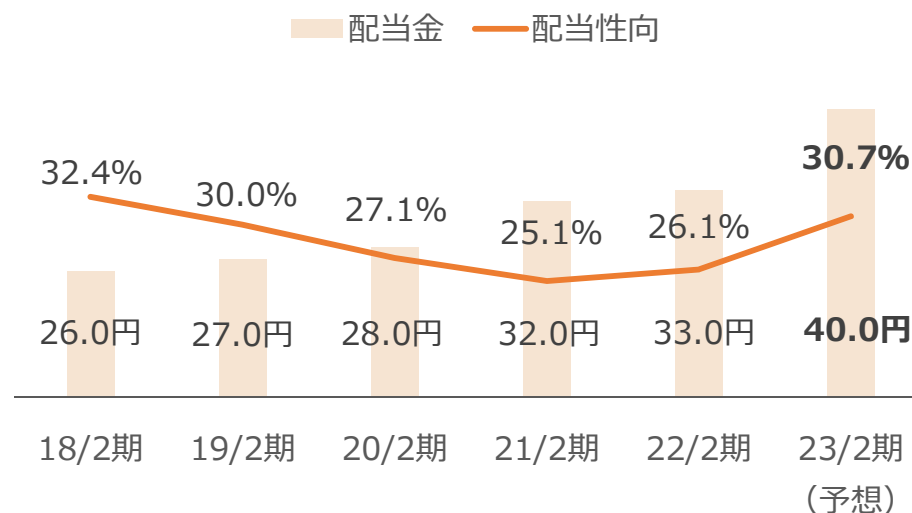
※ 投資金額は有形固定資産、ソフトウェア、敷金及び保証金

※ 減価償却費にはソフトウェア、無形固定資産、長期前払費用等の償却費を含む



配当政策

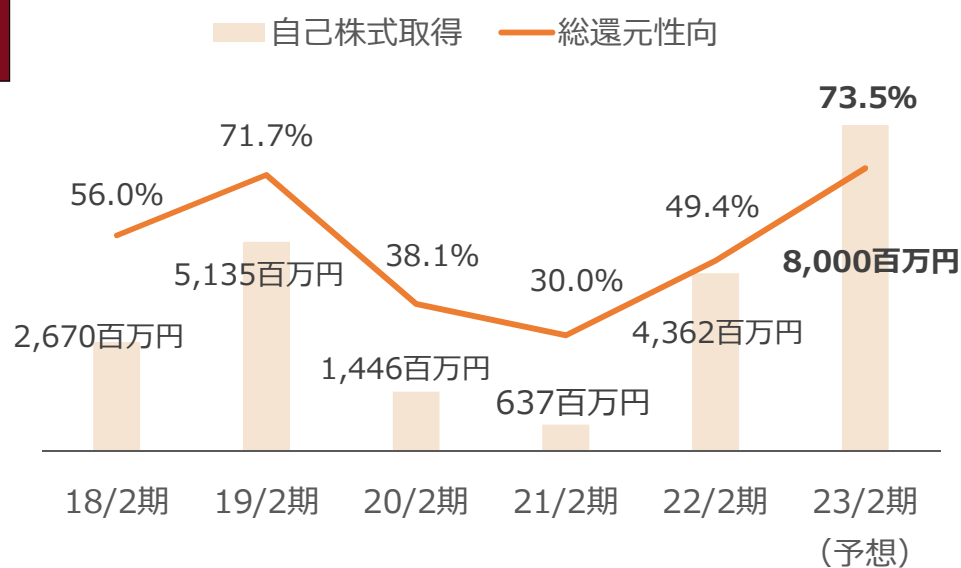
- 安定配当
- 22/2期は期末配当1円増配
- **23/2期は直前の配当予想より
中間配当 3円増配
期末配当予想 3円増配**



自己株式取得

- 継続的に取得を検討
- 22/2月期は 3,842千株取得
- **2022年9月30日～
8,000百万円取得**

※ 23/2期 (予想) については、期中に全て取得が完了したと仮定して記載しております。



2023年2月期 業績予想

(2022年3月1日～2023年2月28日)

(当初公表の業績予想からの修正の有無：無)

DCMホールディングス株式会社

2023年2月期 業績予想の前提



新規出店及び退店

	上期		下期		通期	
	新店	退店	新店	退店	新店	退店
ホームセンター	1	2	1	4	2	6
ホダカ	2	0	5	0	7	0
DCMニコット	2	0	1	0	3	0
計	5	2	7	4	12	6

※ ホダカはプロ業態、DCMニコットは小型HC

既存店売上高伸び率

上期	下期	通期
△3.1% (△0.7%)	△3.6% (△1.2%)	△3.3% (△0.9%)

※ () 内は前期「収益認識に関する会計基準」を適用したものととして伸び率を算出

設備投資及び減価償却費

(単位：百万円)

設備投資	減価償却費
12,500	12,700

※ 設備投資は有形固定資産、ソフトウェア、敷金及び保証金

※ 減価償却費にはソフトウェア、無形固定資産、長期前払費用等の償却費を含む

2023年2月期 連結業績予想（通期）



2022年3月1日～2023年2月28日

※参考 (単位：百万円、%)

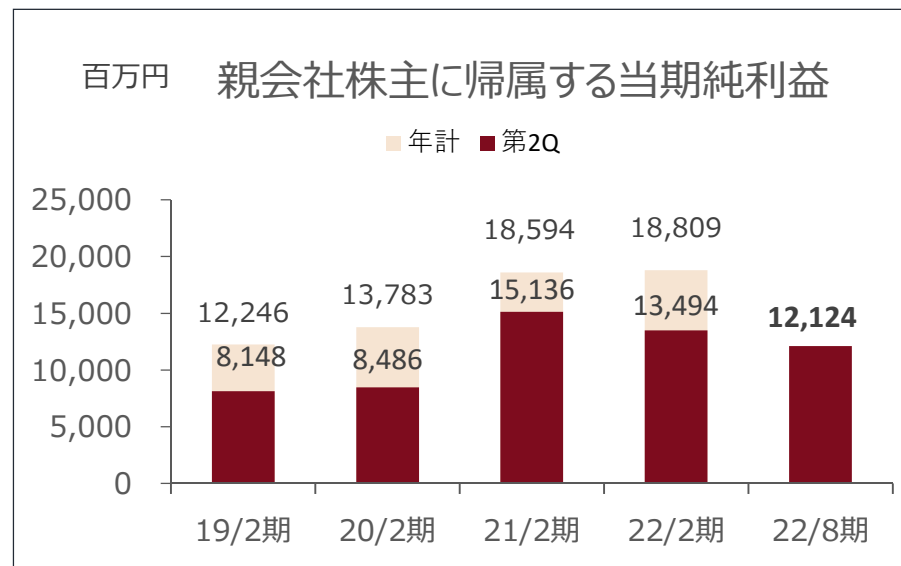
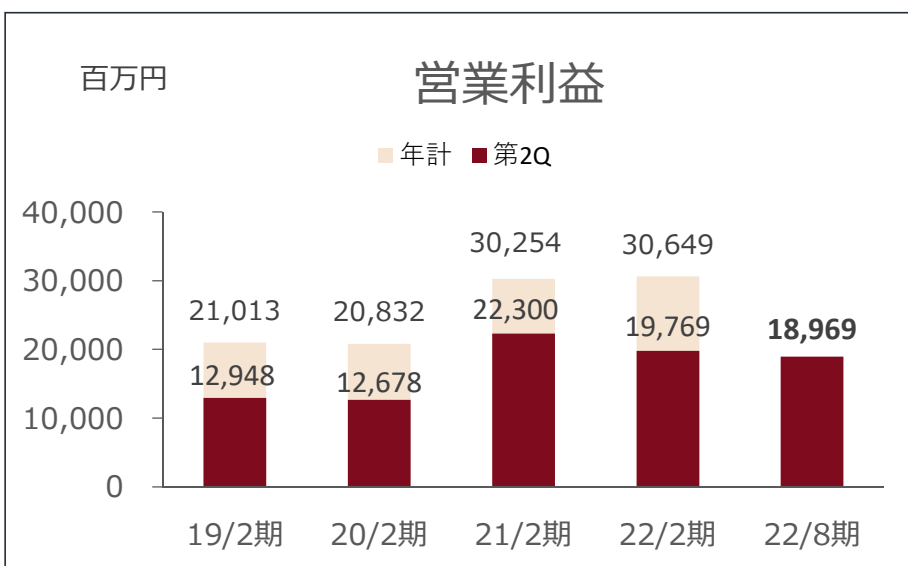
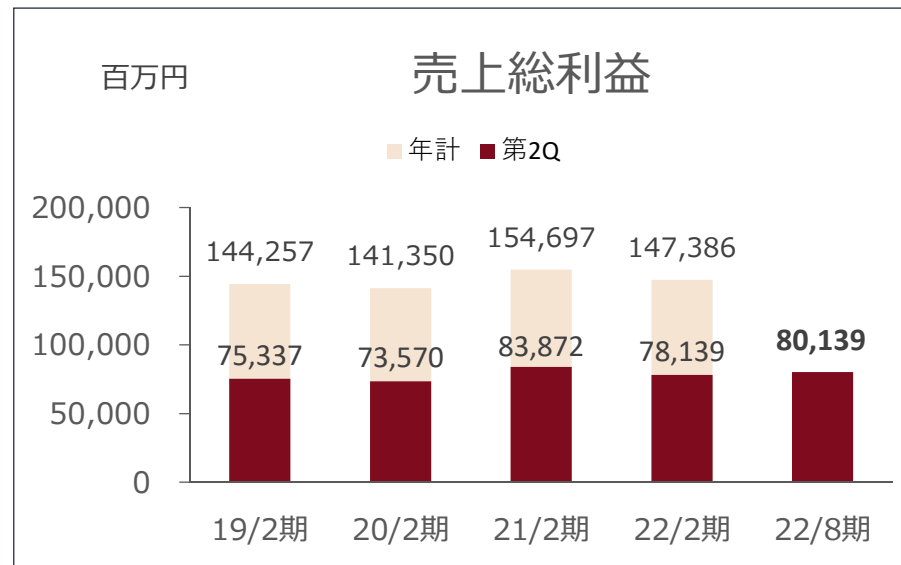
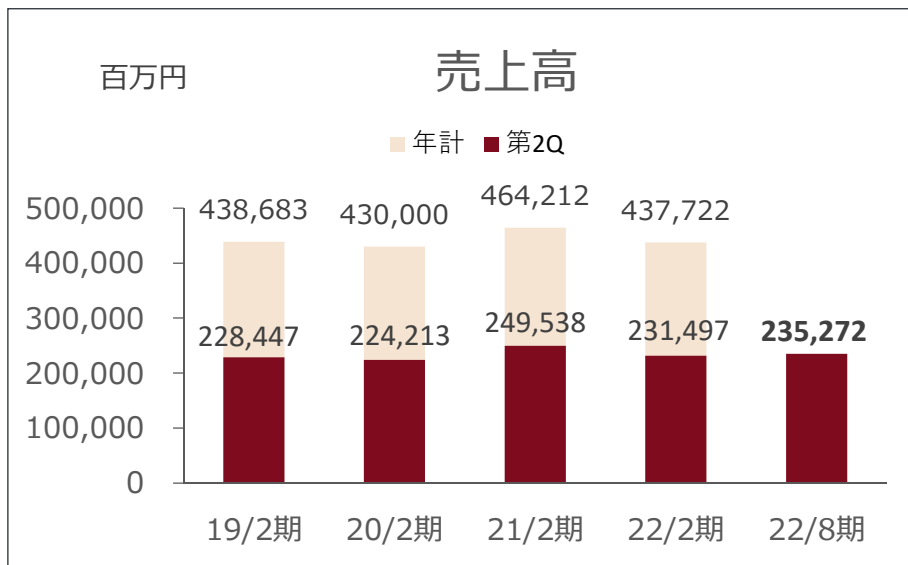
	2022年2月期 実績		2023年2月期 予想		前期比	エクспライス(株)を含まない予想		
	金額	売上比	金額	売上比		金額	売上比	前期比
売上高	437,722	100.0	488,000	100.0	111.5	427,000	100.0	97.6
売上総利益	147,386	33.7	159,250	32.6	108.0	149,200	34.9	101.2
営業収入	7,028	1.6	7,100	1.5	101.0	7,100	1.7	101.0
営業総利益	154,414	35.3	166,350	34.1	107.7	156,300	36.6	101.2
販管費	123,765	28.3	135,350	27.7	109.4	125,300	29.3	101.2
営業利益	30,649	7.0	31,000	6.4	101.1	31,000	7.3	101.1
経常利益	30,317	6.9	30,700	6.3	101.3	30,700	7.2	101.3
親会社株主に帰属する当期純利益	18,809	4.3	19,000	3.9	101.0	19,350	4.5	102.9

- 1株当たり当期純利益 128円19銭
- 1株当たり配当予想 40円（中間20円、期末20円）
- エクспライス(株)を含んだ連結業績予想となっております。

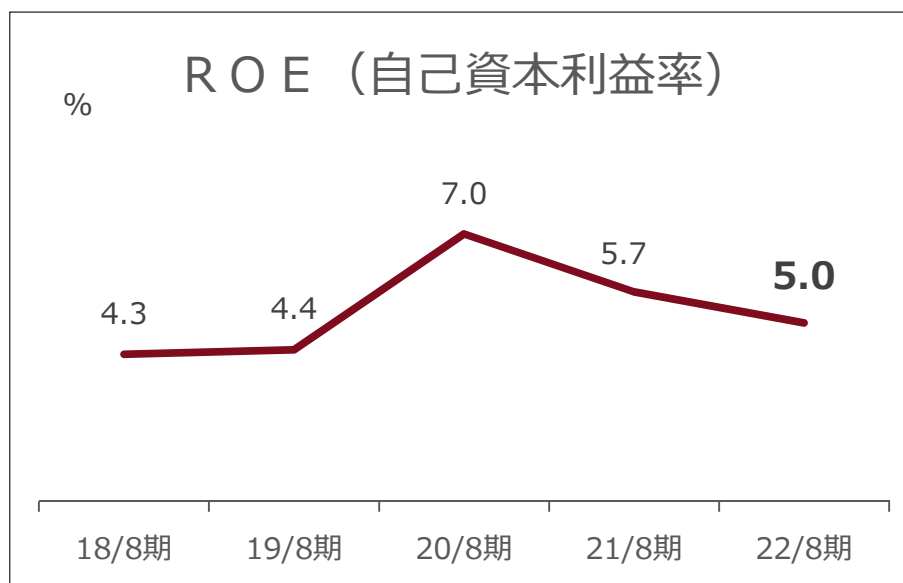
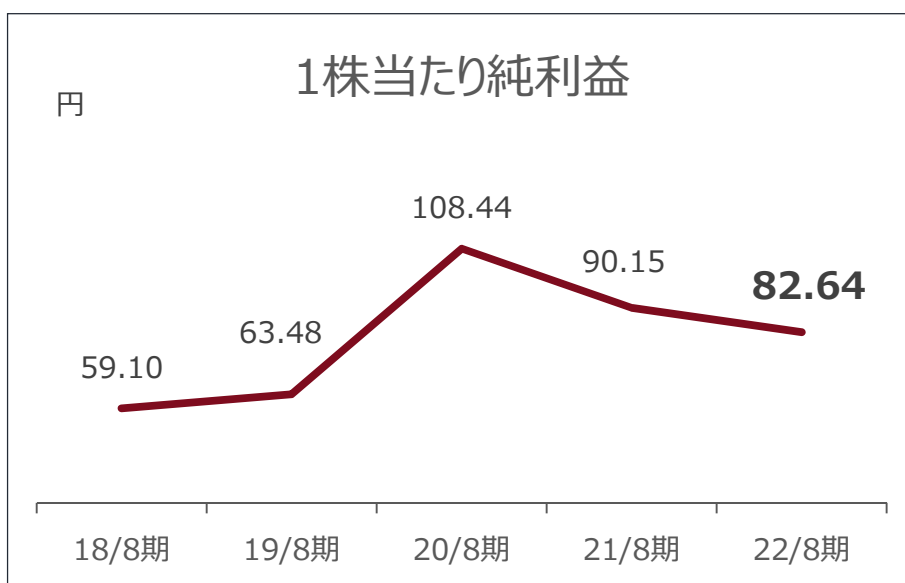
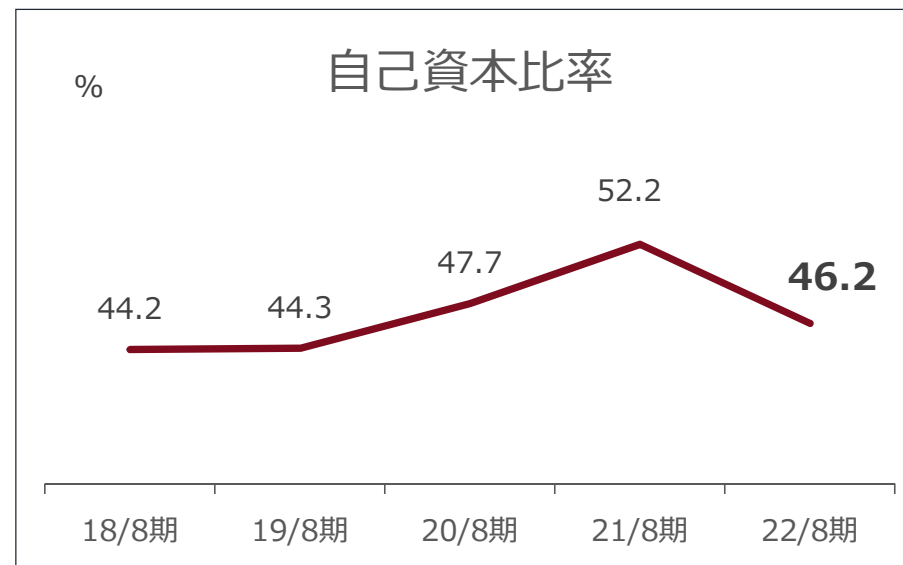
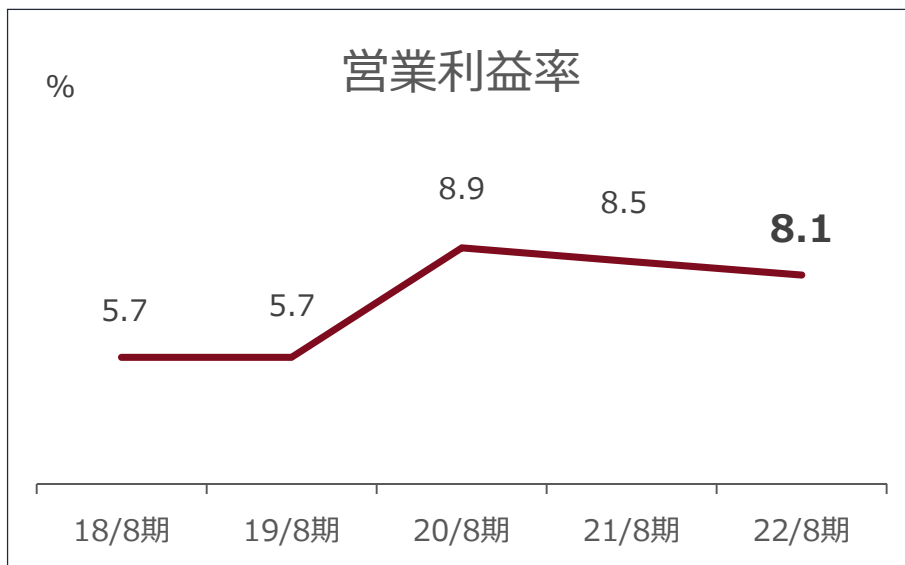
参考資料

DCMホールディングス株式会社

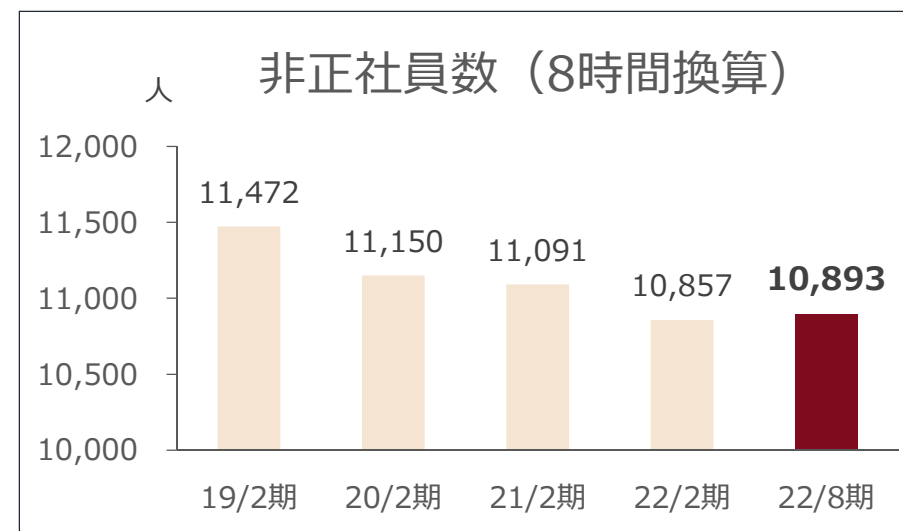
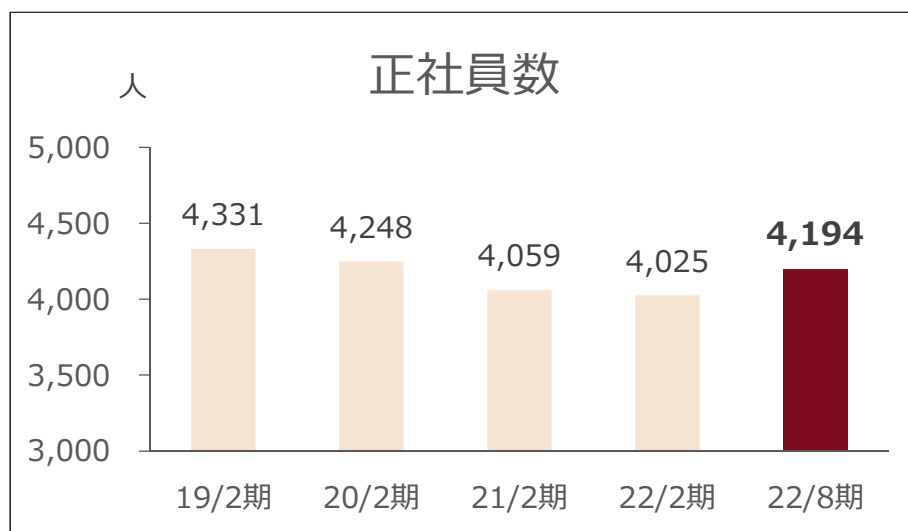
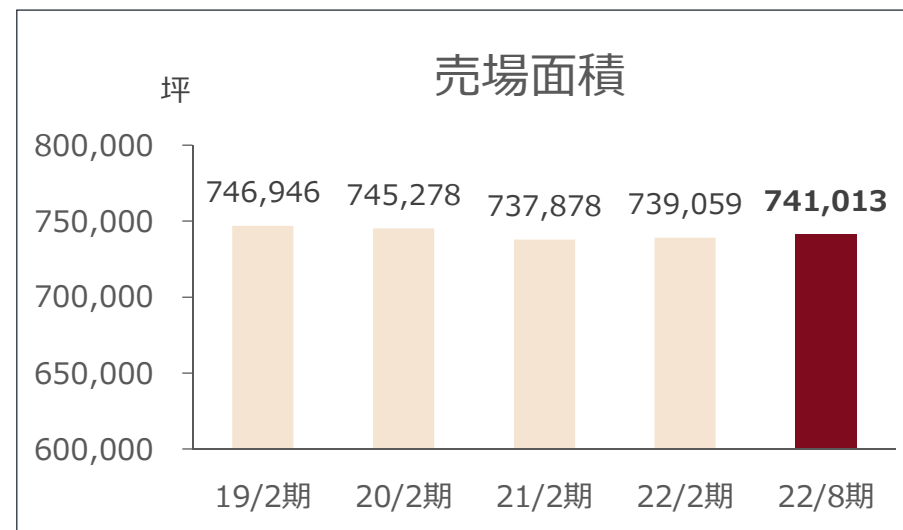
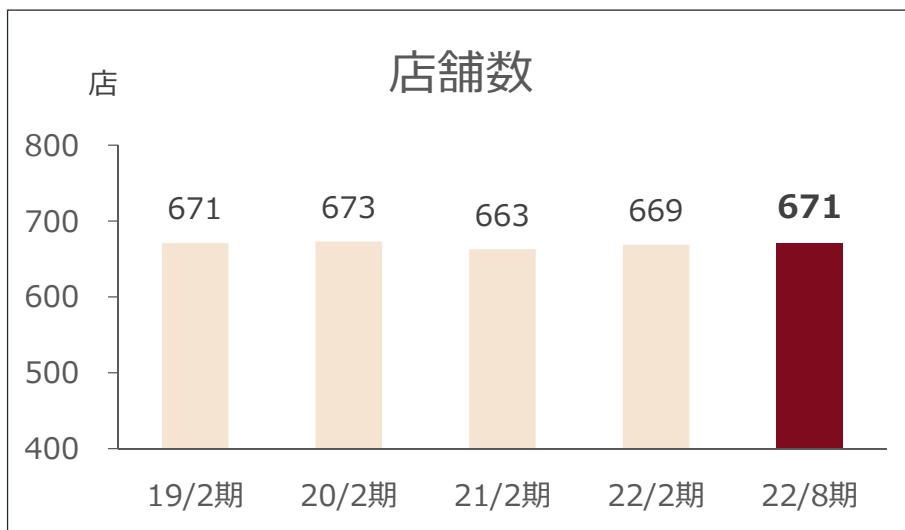
業績推移



経営指標



営業数値



- 21/2期 2020年12月1日付にて、食品事業を譲渡したことなどから、店舗数、売場面積、正社員数が減少しております。
22/8期 エクスプライスを連結したことにより、正社員数、非正社員数が増加しております。

新規出店・退店の状況



新規出店	店舗数	店舗名	地域	開店月	売場面積 (坪)	備考
ホームセンター	1	大垣鶴見店	岐阜県	2022年3月	1,499	
ホダカ	1	仙台高砂店	宮城県	2022年3月	343	
DCMニコット	2	下川店 浄法寺店	北海道 岩手県	2022年4月 2022年8月	200 289	
合計	4				2,331	

退店	店舗数	店舗名	地域	閉店月	売場面積 (坪)	備考
ホームセンター	2	宮古店 湯前店	岩手県 熊本県	2022年5月 2022年5月	260 117	
合計	2				377	

※ ホダカはプロ業態、DCMニコットは小型HC

社是

奉仕 創造 団結

経営理念

Do Create Mystyle
くらしの夢をカタチに

お客さまのために、新しい商品・サービスを創造し、
変化に柔軟に対応しながら、地域と団結し、社会に奉仕する
なくてはならない企業のカタチを実現します。

行動理念

すべてをお客さま視点からの発想で

Demand Chain Management for Customer

お客さまの満足と流通の進化を両立させる企業を実現します。

行動指針

お客さま第一

私たちは お客さまに寄り添って“よく”考えます。

誠実な対応

私たちは お客さまを“笑顔にできる”商品・サービスを提供します。

地域社会との協同

私たちは お客さまと“ともに”豊かな暮らしを創造します。

チームワーク

私たちは 自らの役割を果たし 仲間を尊重し 協力しあいます。



Do Create Mystyle
くらしの夢をカタチに